

トルコ大統領選挙

エルドアン大統領優勢で5月28日の決選投票へ

2023年5月19日

エルドアン大統領続投なら現行の緩和的な金融政策が継続か

トルコでは5月14日（現地、以下同様）に大統領・議会選挙が実施されました。注目の大統領選挙の得票率は、現職のエルドアン氏が49.50%、野党6党の統一候補であるクルチダルオール氏が44.89%、極右のオアン氏が5.17%となりました（16日時点、開票率99.87%）。過半数の票を獲得した候補者がいなかったため、エルドアン氏とクルチダルオール氏による決選投票が5月28日に実施されます。オアン氏の支持がどちらの候補に向かうかが決選投票の勝敗を左右することになりますが、クルチダルオール氏を支持しているクルド系政党とオアン氏は対立関係にあるため、クルチダルオール氏が逆転できるほどの協力はオアン氏から得られず、結果としてエルドアン氏が勝利するとの見方が優勢のようです。

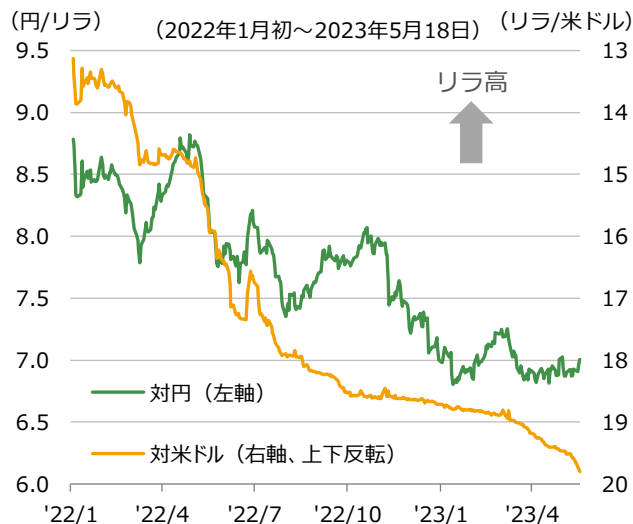
高インフレにもかかわらず中銀に利下げを強いてきたエルドアン大統領に対し、クルチダルオール氏は中銀の独立性を取り戻すと主張してきました。事前の世論調査ではクルチダルオール氏が優勢だったため、市場では政権交代後の大幅利上げを織り込んで国債利回りが急上昇（価格は急落）していました。しかし、14日の投票結果を受けてエルドアン大統領の続投観測が強まると、国債利回りは急低下（価格は急騰）しました。為替市場では金利低下によりトルコ・リラ安圧力が強まりましたが、リラ安対策が講じられている模様で変動は小幅にとどまっています。決選投票での逆転に向けて、クルチダルオール氏はオアン氏の支持を得るべく不法移民問題に焦点を当てるなどしているため、選挙情勢が変化するか注目されます。

トルコの国債利回りと国債指数



（出所）ブルームバーグ

トルコ・リラの対円・対米ドルレート



（出所）ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management